

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会
第10回 議事録(要旨)

日時：令和2年1月14日(火)
場所：自然学総合研究所、各務原市内

参加者一覧

出席者	安藤 辰夫 大塚 之稔 西條 好迪	(一財)自然学総合研究所客員研究員 日本野鳥の会岐阜代表 (一財)自然学総合研究所理事長
事務局	黒木 雅之 山田 遼太 他2名	恵那土木事務所濃飛横断自動車道建設課 技術課長補佐兼係長 恵那土木事務所濃飛横断自動車道建設課 技師 大日コンサルタント株式会社

濃飛横断自動車道(中津川工区)鳥類対策検討会 議事録(要旨)

議題	発言者	番号	意見の主旨	対応
1. これまでの経緯について				
	検討会委員 一同	1	これまでの検討会の経緯を確認した。	—
2. 令和元年(平成31年)繁殖期の調査結果について				
	事務局		第9回検討会以降の現地調査等の実施状況や、新たに得られた情報を報告した。	—
	検討会委員	2	岩屋堂ペアは、平成29年、平成30年、平成31年(令和元年)の調査では確認されていない。平成28年頃から、岩屋堂シデコブシ群生地の近くで住宅地の造成工事が行われており、樹林のコアの部分がなくなり、繁殖地として不適地になっている可能性が高い。営巣に不安定な場所は繁殖を避けることがあるので、造成工事により平成29年ごろから繁殖地としての利用をあきらめたと思われる。	—
	検討会委員	3	岩屋堂地区にて飛翔が確認された個体は、岩屋堂地区に固執している個体ではなく、千旦林南ペアの可能性もある。	—
	検討会委員	4	千旦林南地区については、他事業者の工事着手状況や営巣木の位置等の最新の繁殖情報を含めて判断する必要があるため、他事業者からのデータ提供を受け調整していく必要がある。	いただいた意見を参考に 対応する。
3. 今後の調査計画(案)について				
	事務局		岩屋堂地区では、3年間継続して繁殖が確認されておらず、営巣の可能性は小さいが、H26・28の営巣林周辺に執着する個体が存在するため、調査回数を減らして令和2年度も調査を実施する予定としている。千旦林南地区については、JR東海、中部電力、中津川市、岐阜県による調整会議の場を設け、情報共有を行う予定としている。	—
	検討会委員	5	繁殖活動期には個体差があり、繁殖開始時期は2月～3月と長い期間が想定されている。日照や気温の影響よりも個体差の方が大きいため、暖冬等の気象の変動は調査時期に考慮する必要はない。	—
	検討会委員	6	岩屋堂地区の調査を、回数を減らして継続することを了承する。調査実施時期も提案どおりでよい。次年度の鳥類対策検討会は、令和3年1月頃に開催予定とすることを基本的に了承するが、令和2年の現地調査により繁殖に関する情報が得られた場合は、追加開催について検討すること。	いただいた意見を参考に 対応する。
	検討会委員	7	出現状況からすると、おそらく冬季も雄が岩屋堂地区に存在する可能性が考えられるが、春になって雌が戻り繁殖活動を開始するとは限らない。	—
	検討会委員	8	岩屋堂地区の周辺で予定されているボーリング調査は、1月中に実施すること。1月中のボーリング調査であれば、目隠し板、防音壁は必要ない。	いただいた意見を参考に 対応する。
	事務局		次年度も、令和2年の調査結果を踏まえ、今後の調査や配慮事項について検討委員会に諮り指示を仰ぐ。	—